

【討議資料】 わが国の目指すべき社会の方向性について

基本的な考え方：社会統合に向けて

1) 誰もがあらゆる場面で参画できる社会

- ・ 個人がその有する多様な資質や能力をのばし、いかすことができる社会
- ・ 生涯にわたり、職業やさまざまな社会活動等を通じて、多様な社会的接触が保持されている社会

2) 支え合いと信頼の社会

- ・ 義務負担とその見返りが実感できる社会
- ・ 格差や貧困が固定化されない社会
- ・ 無駄のない高機能な政府の実現

目指すべき社会像：希望をもって生きられる社会

生き生きと働ける社会

【基本的な考え方】

○能力の発揮と多様な職業選択が可能な社会

- ・ 先天的、後天的資質と能力が十分に発揮される仕組みづくり
- ・ 労働の対価が適正である仕組みづくり
- ・ 熱望や抱負が最大限実現できるキャリアアップの仕組みづくり 等

○再挑戦ができる社会

- ・ 失業直後のセーフティネットの仕組みづくり
- ・ ステップアップ、ミスマッチの解消ができる職業訓練の充実・大学への再入学 等

○産業が元気で雇用が充実した社会

- ・ 世界的な競争に打ち勝つ次世代産業の振興
- ・ 地域への定住と定職の確保を促すセーフティネット的産業の展開（生活密着型、地域密着型）
- ・ 自然再生事業などのグリーン・ニューディール的な事業の展開
- ・ 維持補修（修繕、改築）型の公共事業への展開 等

生涯を通じて不安のない社会

【基本的な考え方】

○生活困窮者等が自立できる社会

- ・ 自立に向けて出入りが容易な生活保護
- ・ 地域全体で支える若者の自立支援 等
- ・ 加齢や障がいに応じた自立支援

○安心して子どもを産み育てられる社会

- ・ 子育てと就労の両立が可能な環境づくり
- ・ 地域社会で子育てを支える環境づくり

○学びと教育に安心できる社会

- ・ 教育機会の均等化
- ・ いつでも学び直しができる仕組みづくり 等
- ・ 教育と実社会との結びつきの強化

○医療と健康に安心できる社会

- ・ いつでも、どこでも適切な医療サービスにアクセスできる仕組みづくり
- ・ 生涯を通じた健康づくりの仕組みづくり 等

○老後と介護に安心できる社会

- ・ 加齢に応じて自己実現ができる環境づくり
- ・ 安心できる年金・介護保険制度の確立
- ・ 地域における医療・介護連携の推進 等

家族や地域の絆が育まれている社会

【基本的な考え方】

○家族や地域の絆が再生されている社会

- ・ 子育て、若者、高齢者等を地域で支える仕組みづくり
- ・ 主体的に地域づくりに取り組む環境づくり

○多様な主体が連携している社会

- ・ NPO など多様な主体の連携による支え合いや自己実現
- ・ コミュニティビジネス等の展開

○個性豊かな地域アイデンティティが継承・創造されている社会

- ・ 地域環境、地域文化など地域アイデンティティの再確認・再発見
- ・ 地域資源を活用した新たな地域文化の創造